
岡山県笠岡市・矢掛町中学校組合

教育振興基本計画

自立 共生 ふる里を大切にすること

～よりよい社会作りに貢献するため、多様性を認め合いながら、
自らの将来を切り拓くことのできる生徒の育成を目指す～

令和4年4月

岡山県笠岡市・矢掛町中学校組合教育委員会

第 1 章 基本理念と基本方針

1 基本理念

自立 共生 ふる里を大切にする心

～よりよい社会作りに貢献するため、多様性を認め合いながら、

自らの将来を切り拓くことのできる生徒の育成を目指す～

2 基本方針

「学び」「育ち」のつながりを大切にし、自立して共に生きるたくましい子どもを育てる

学校教育の推進

学ぶ力の育成,豊かな心の育成,健やかな体をもつ子どもの育成をより効果的に図るために,地域とのつながりと,幼児期,小学校段階,中学校段階それぞれの「学び」「育ち」をなめらかに接続することを大切にし,連携教育の推進を図ります。また,ソフト・ハードの両面から子どもたちが夢や目標をもち安心して学習できる環境づくりを行います。

第3章 基本方針を実現するための施策

「学び」「育ち」をつながり大切に、自立して共に生きるたくましい子どもを育てる
学校教育の推進

学習指導要領では、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな感性や人間性の育成が重視されています。幼児期、小学校段階、中学校段階それぞれの「学び」「育ち」をなめらかに接続することを大切にしながら、知・徳・体のバランスのとれた力である「生きる力」を連携教育の推進により育み、夢に向かって粘り強く学ぶ子どもの育成が求められています。

将来を担う人材を育成するためには、学校教育は大きな役割を担っており、社会の変化への対応、子どもたちの実態や保護者・地域のニーズに即した教育を校長のリーダーシップの下、すべての教職員が一丸となって推進していくことが重要です。さらに、「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切です。

こうしたことから、子どもたちが自己の夢の実現に向け、一人の自立した人間として努力し、他者と協働しながら自信をもって生きていくことができるよう、「自立して、共に生きるたくましい子どもを育てる学校教育」を推進します。

◆基本施策1 自立した子どもの育成

(1) 自ら学びに向かい、課題を解決する力を育成するための教育環境の充実

まずは、落ち着いた学習環境づくりを行うため、自己肯定感・自己有用感の醸成及び、学習集団の人間関係づくりに努めます。

子どもたちが夢や目標をもち、自ら課題を見つけてその解決に主体的に取り組む力を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの充実を図り、学習に主体的に取り組む意欲や学んだことを人生や社会に生かそうとする態度の育成を図ります。

1人1台端末の授業での活用、家庭へ持ち帰っての個別学習への活用、身近な文房具としての日常的な利用等を通じて、個に応じたきめ細かな学習方法の工夫・改善を図ります。

【主な取組】

- 落ち着いた学習環境づくりへの支援
- 夢や目標を育む教育の推進
- GIGAスクール構想の推進とICT機器の利活用(オンライン授業等)

(2) 確かな学力を身につけるための教育内容・方法の充実

子どもたちの「生きて働く知識・技能の習得」に寄与するために、1人1台端末等を活用した授業改善や、個別最適化された学びを実現し家庭学習や補充学習の充実に努めます。

す。

また、放課後学習サポート、中学生検定チャレンジ事業の実施等を通して、学習機会・学習環境の充実を図ります。あわせて各種顕彰事業も行い、学習意欲の醸成を図ります。

様々な教育課題の解決のため、教育研修所研修部会や学校における研修の充実を図り、実践的な研修を推進し、教職員の資質・能力の向上を図ります。また、校長会等を通じて、日常的な服務に関する研修を計画的・継続的に行い、服務規律の厳正化、不祥事の未然防止に努めます。

【主な取組】

- AI教材の活用
- 家庭学習・補充学習の充実
- 学習機会の充実と表彰事業（井戸平左衛門賞、検定チャレンジ等）の実施
- コミュニケーション能力向上を目的とした英語教育等の推進
- 教職員の指導力の向上

◆基本施策2 共生の心の育成

(1) 豊かな人間性を育む教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣や規範意識を身に付け、豊かな人間性や社会性を育む「心の教育」の充実を図ります。特に、職場体験等の体験活動の充実や家庭・地域連携を通して、道徳教育の充実に向けた取組を推進します。

特別支援教育を充実させるために、個々の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行います。同時に、学校内の指導体制や学校への支援体制を充実させ、特別支援教育に関する教職員の資質の向上を図ります。関係諸機関との連携の中で、適切な就学指導・進路指導を進め、障がいのある生徒の教育の充実にも努めます。

また、いじめ、不登校、問題行動の未然防止、早期発見・早期解決に取り組み、子どもたちの好ましい人間関係づくりを推進します。

すべての子どもが互いの人権を尊重し、共に生きる社会を実現するため、人権尊重の精神の涵養を目的とする人権教育を推進します。様々な人権問題を自らの課題としてとらえ、主体的に解決に取り組む態度を養うため、教育活動全体を通じて、計画的・継続的に人権教育に取り組みます。併せて、教職員が一丸となって子どもの人権を尊重し、一人一人を大切にした教育の一層の推進を図り、いじめや体罰の根絶に努め、子どもたちを真に大切にしている教育活動を展開します。

学校において、安全点検を徹底するとともに、笠岡市危機管理部と連携を図りながら火災や地震、津波等の緊急事態発生時には、全教職員及びすべての子どもたちが適切に対応できるよう避難訓練を充実させるなど、安全で安心して生活できる実効性のある危

機管理体制づくりを推進します。

子どもたちが災害に対する正しい知識・技能を身につけ、「自助」「共助」も意識を持つことができるような防災対応能力も育成します。

【主な取組】

- 豊かな心を育む総合推進事業の推進
- 道徳教育・体験活動の充実
- 特別支援教育の充実
- 人権教育の推進
- 安全・防災教育の推進
- キャリア教育・ボランティア教育の推進
- 芸術や文化に触れる機会の充実
- 専門家の活用及び学校・家庭・関係機関との連携の促進

(2) 健康教育の充実と食育の推進

子どもの心身の健康を保持・増進していくために、「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」の生活習慣の定着を図るとともに、健康を大切にす意欲や態度を育て、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく実践力の育成に努めます。

学校給食では、安全・安心を最優先に衛生管理の徹底に努め、栄養教諭と連携して食に関する指導の充実を図り、望ましい食習慣の確立に取り組みます。

【主な取組】

- 健康教育の推進
- 栄養教諭と担任・養護教諭との連携による食育の計画的な推進
- 給食内容の充実
- 食物アレルギーへの対応の充実
- 地産地消の積極的な推進

(3) 学校体育・スポーツ活動の充実

子どもたちに生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上を図るとともに、自他の生命の尊重を基本理念として健康で安全な生活を送ることができる能力・態度・習慣を育てます。「わかる」「できる」楽しさがある授業の実践、体育的行事や運動部活動を通じた家庭・地域との連携等の充実を図り、運動に親しむ資質や能力を育てます。

【主な取組】

- 学校体育の充実

- 体力・運動習慣づくりの推進
- 中学校体育連盟主催の各種大会・記録会への支援

◆基本施策3 郷土愛の育成

ふるさとの自然、歴史、文化、人物等のよさを見つめる学習を通して、郷土愛を深めていきます。特に、ふるさとへの愛着と誇りを醸成するキャリア教育の充実に資するためにも、小学校との連携教育の取組の中でキャリア教育の視点を大切に「地域学」を実践します。

また、地域ぐるみで子どもの教育を推進する開かれた学校づくりを推進します。

【主な取組】

- 地域教材を活用した総合的な学習の時間等の実践
- 学校運営協議会及び地域学校協働活動の推進
- いきいきオープンスクールの実施
- 学校HPを活用した情報発信

◆基本施策4 連携教育の推進

幼児期、小学校段階、中学校段階それぞれの「学び」「育ち」をなめらかに接続することを大切に、連携教育の推進を図ります。

学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営に生かすと共に、地域学校協働本部事業の活用を図るなど、地域ぐるみで子どもの教育を推進する体制づくりに取り組みます。

【主な取組】

- 笠岡市立北川保育所、北川小学校並びに、矢掛町立小田保育園、小田小学校との保
小中連携教育の推進
- 学校運営協議会及び地域学校協働活動との連携の推進

◆基本施策5 学校施設等の整備

児童生徒等の学習及び生活の場として、良好な環境を確保するとともに、安全性を備えた施設環境を形成することができるように、施設整備に努めます。また、学習内容・学習形態等の変化などに対応できる施設環境の充実に努めます。

令和2年3月に策定の「笠岡市小中一貫教育推進計画」に基づき、小中一貫教育を実施するための施設整備に取り組みます。

【主な取組】

- 老朽化した学校施設の改修整備
- 安全な施設環境の確保
- 多様な学習形態に対応できる施設環境の整備
- 高機能・多機能な学習環境づくりへの支援
- バリアフリー化の推進
- 小中一貫教育校の施設整備